



【1 学期のぞみでの授業の様子】

特別支援教室のぞみでは、小集団や個別での「自立活動」の授業を通して、対人関係やコミュニケーション、情緒の安定などについて学習することで、生徒一人一人の良さを伸ばしつつ、学校生活における困り感を軽減し、よりよい学校生活を送れるようサポートしています。今回は 1 学期にのぞみで行った活動の一部を紹介いたします。

【ICT 機器を活用した自己紹介】

1 学期はタブレットを活用し、自己紹介スライドの作成・発表を行いました。他者を意識した適切な話し方・聞き方を身に付けるとともに、同じ小集団のメンバーの新たな魅力に気づき、絆を深めることができました。

【困り感の原因と対処法を考える】

	どんなときに、そうなる？	そんなときの対処法はどうする？
① 大爆発ゾーン	②	③ 大爆発をしてしまったら、どうやってクール・ダウンする？
① 危険ゾーン	②	③ 大爆発する前に、どうやって怒りを収める？
① イライラムカムカ	②	③ イライラ・ムカムカしてきたら？
① 大丈夫 平気	②	③ 平気なとき、イライラしないためには何を注意する？
① ニコニコ 元気	②	③ ニコニコしているとき、楽しさを維持するためには？

生徒一人一人の実態に合った教材を使用し、困り感の原因と対処法を一緒に考え、日常生活に生かしていけるように支援をしています。

はぁ

- A なんて？の「はぁ」
- B 力をためる「はぁ」
- C ほうぜんの「はぁ」
- D 感心の「はぁ」
- E 怒りの「はぁ」
- F とほけの「はぁ」
- G おどろきの「はぁ」
- H 失恋の「はぁ」

1 ブログ

2 SNS (エヌエヌエス)

3 アプリ

4 メールアドレス

5 ウェブサイト

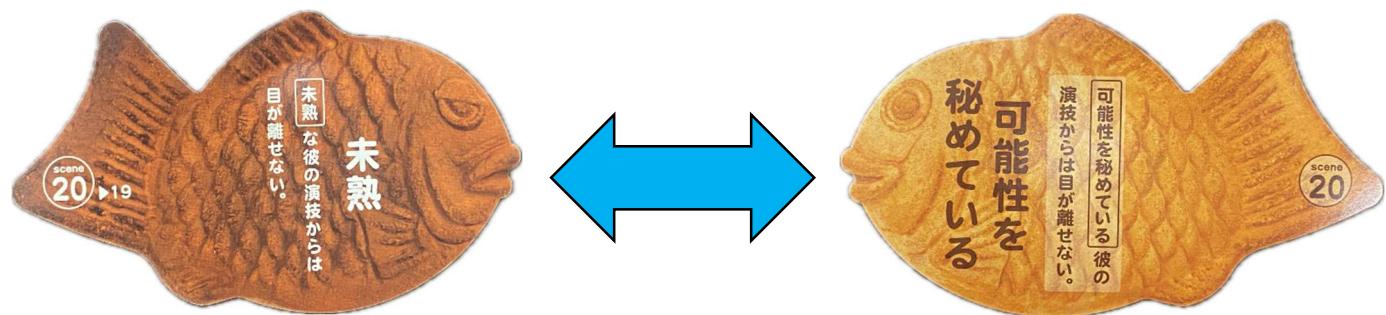
6 インターネット

【コミュニケーション活動】

声の抑揚やトーン、表情だけでお題に合った様々な感情を伝える「はぁって言うゲーム」や、カタカナ語を使わずにお題のカタカナ語を相手に説明する「カタカナシー」などをプレーしながら、楽しくコミュニケーションの基礎を学習しました。

【ネガティブをポジティブに リフレーミング】

のぞみでは、生徒が自信をもって前向きに日常生活を送れるよう、自己肯定感を高める活動や声掛けを行っています。その中の一つ、「リフレーミング」という考え方について紹介します。



ネガティブな言葉も、言い換えるとポジティブな言葉になります。他人から言われて嫌だったことや自分の短所も、見方を変えることで長所にすることができます。リフレーミングを習慣づけることで、物事を前向きに捉えることができ、自己肯定感を高めることができます。自分の長所・強みを知り、自信をもって日常生活を送ることで生徒がもつ能力が最大限発揮されるよう、支援してまいります。

今回紹介した活動以外にも、個別・小集団の授業の中で生徒一人ひとりの困り感や実態に合った活動を行っています。授業のご意見やご感想がありましたら、お気軽に巡回指導教員までお知らせください。

【2学期以降の入室スケジュール】

入室申請期限	特別支援教室調整会議	入室月
9月末	10月23日(木)	11月

(令和7年度 巡回日によるお問い合わせ先)

曜日	巡回校	各校電話番号
月曜日	佃中学校または、日本橋中学校	晴海中学校 (03-3531-6308:職員室) (03-3531-8464:特別支援教室 直通) 銀座中学校 (03-3545-8011:職員室) 佃中学校 (03-3531-7214:職員室) 日本橋中学校 (03-3663-4411:職員室) 晴海西中学校 (03-5560-1270:職員室)
火曜日	佃中学校または、日本橋中学校	
水曜日	銀座中学校または、晴海西中学校	
木曜日	銀座中学校または、晴海西中学校	
金曜日	晴海中学校	